

市民協働情報誌

まちづくり しよ!

市民公益活動団体のご紹介





佐倉城址公園ボランティアの会



当会は、佐倉市の公募による会員を中心に、「佐倉城址公園の歴史的環境及び自然環境を守り、その活用をボランティア活動によって市民とともに推進していくこと」を目的として、2002年(平成14年)5月に設立し、21年目を迎えました。設立当初の佐倉市民カレッジ卒業生2名を中心に、佐倉市民と千葉県内在住の会員で構成し、現在の会員数は、賛助会員を含め50代から80代の25名です。

活動は、自由広場入口の佐倉城址公園センターを拠点に、環境部門とガイド部門があり、毎週火曜日と毎月10日の午前中(9:30~11:30)に活動しています。第1火曜日は定例会議を行い、活動報告と今後の活動方針について話し合います。毎回、佐倉市公園緑地課職員の方に出席していただき、新しい情報とアドバイスをもらっています。第2・4火曜日は、広小路や側溝の清掃、花壇の植え付け・整備、樹木名板の設置、生け垣の修理など幅広く城址公園の美化に努めています。第3火曜日は、日帰り研修旅行などの行事を実施しています。毎月10日は、佐倉城址公園とその周辺の歴史散歩による定例ガイド(6コースあります)を行っています。また、年間20回程度のガイドの依頼に対応しています。(県内の小中学生や、県内・県外の希望者など)

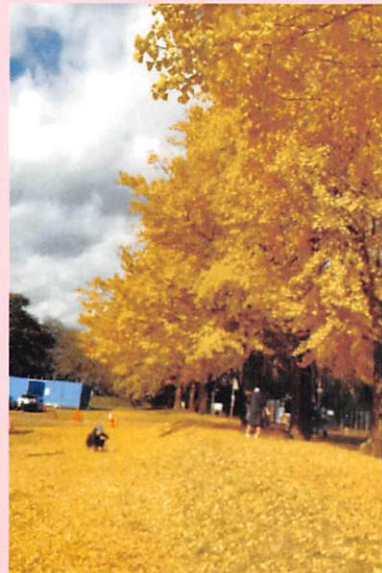
散歩やガイドに来られた方々からかけられる温かい言葉にいつも励まされています。私たちが愛する佐倉城址公園は宝物です。そして何よりも私たちは対面でのコミュニケーションを大切にしています。

例えば、初夏の並木清掃時の暑い日のこと、「ご苦勞様です。皆さんのおかげ



で気持ちよく散歩ができます。」とご婦人からねぎらいの言葉とお菓子をいただきました。その自然なやさしい心遣いにホロっときました。地道な取り組みの大切さを痛感させられた出来事です。

また、12月の定例ガイドを終えた時のこと、「今日のコースの紅葉は本当に素晴らしいですね。私の新しい発見です。次回もまたお願いします。ありがとうございました。」と、リピーターの方からの言葉に、普段の準備の大切さと学びへの勇気をもらいました。ここには、市場原理ではない地域に根差した市民公益活動の楽しさがあり、私たちのやりがいでもあります。



年度当初に、年間の活動内容がわかる『必携』を発行しています。年間行事予定表や関連機関連絡先一覧など豊富な情報が盛り込まれている一冊で、いつ入会されても、迷わずに活動が始められます。また、入会条件は特にありません。佐倉の自然や歴史に興味があり、佐倉城址公園を愛する方の入会をお待ちしています。年会費は1,000円です。

環境部門は、普段から数多くの樹木名板を丁寧に作成し、要所に設置して、城址公園の散歩をよりわかりやすく楽しいものにしています。今後の課題としては、樹木名板をより充実させるとともに、『桜マップ(改訂版)』の作成に地道な調査で協力し、私たちの自然ガイドに役立てることで。

ガイド部門は、コースに応じた4冊のテキストを発行しています。わかりやすさを心掛け、たくさんの写真を掲載し、歴史用語にはふりがなが振られています。帰宅後でも、ガイド内容を振り返りながら理解できるテキストを目指しています。ぜひ一度手に取ってみてください。今後は、県内や関東近辺への日帰り研修と学習会を重ねながら、テキストの内容をより深めた改訂版を発行していきたいと思います。

佐倉城址公園には県内だけでなく全国から年間数万人以上の方が訪れて来ます。四季の自然にも恵まれた佐倉城址公園のすばらしさは、「日本最強の城スペシャル第11弾」(NHK総合テレビ)や「出沒アド街ック天国」(テレビ東京)で、「土の城」の最高傑作として紹介されています。ぜひ一度ご覧ください。

この空間を守り、後世に伝えていくためにも、佐倉市民の宝物に恥じない案内センターにしたいものです。それが私たち会員の願いでもあります。毎月10日の定例ガイドへ、みなさんのお越しをお待ちしています。



チーム麦畑



月に2回ほど高齢者福祉施設に訪問し、『明るく、楽しく、元気よく』をモットーに、踊り、手話、楽器演奏、合唱、手品など参加型のプログラムで心身のリハビリやリフレッシュを図っています。市民カレッジ18期生による文化祭での演目が

【連絡先】 代表 竹川 昌子 080-6518-2983



北総星見隊



主に週末、特に天文現象がある日に佐倉ふるさと広場や南房総方面で、天体観望や天体撮影会などの活動を行っています。もともと佐倉市周辺に活動している天文グループがなかったため、2017年に「北総星見隊」の立ち上げを思い立ち、設立しました。現在は20名のメンバーが在籍しており、星空愛好者及び天文に興味を持つ者の集まりとして、互いに天文や自然環境の知識や興味を深めるとともに、観測会などを通して幅広く天文知識の一般普及を行うことを目的として活動しています。



天文現象は数百年ぶりなどと報道されるように、一生に一度のチャンスしか見られない現象もあります。そのような現象を見ることができた時や他の方と一緒に見たり感動を共有したりす

好評で、観客から「施設に慰問に行ったら喜ばれるよ」という声が後押しとなり2013年に団体を設立し、現在では21人で活動を行っています。麦バンド(楽器班)はキーボード、ピアノ、ウクレレ、ハーモニカ、オカリナ、タンバリン、カスタネット、鈴と様々な楽器を扱っており、皆初めて扱う楽器に挑戦してきました。まだまだ未熟ですが、みんなで力を合わせて頑張っています。

チーム麦畑の入場テーマ曲「麦畑」の踊りの振り付けは市民カレッジの先輩で、国立劇場や武道館等大きな舞台を数多く踏んだ日本舞踊の先生によるものです。メンバーの仲がとてもよく、和気あいあいと活動しています。利用者の皆様から「また来てね」と言われたときにやりがいを感じます。

コロナ禍で今まで通りに活動ができていないこと、道具が多いので車での移動が欠かせないのですがメンバーが皆高齢者なので、いつまで運転できるかということが今抱えている課題と心配事です。社会福祉協議会主催の街頭募金活動やしおり作り活動等の募集を行っています。

ることにやりがいがあります。

北総星見隊の自慢は天体望遠鏡で星を見る観望会や子供も楽しめるプラネタリウムができることです。星空案内人(星のソムリエ®)や、星空検定を受けに行くなど勉強熱心なメンバーもいます。科学館等のプラネタリウムに勤務していたメンバーもいるので星の案内はピカイチです。市外のメンバーもいるので、活動に参加しやすいようにスケジュールを立てるのに苦労していますが、多くの市民へ星の魅力や素晴らしさが伝えられるようにメンバー全員のレベルアップを図っていきたいと思います。



令和2年に佐倉市の市民公益活動団体に登録されました。市民の皆さんに一人でも多く星の魅力を発信できたらと考えています。また他の団体とのコラボでより広く交流を持ちたいと思います。例えば自然環境保護活動を行っている団体の皆さんは星を見ることで宇宙という広い視点で環境を見つめなおすきっかけになるかもしれません。子ども達を中心に活動されている団体の皆さんも子ども達と一緒に星を見ることで奇跡のような感動体験となるかもしれません。街なかでは星が見えないから…と諦める方が多いのですが、街なかだからこそ、夜空に望遠鏡を向ける意味があります。自然や動植物への悪影響、エネルギーの浪費、ひいては星が見えなくしている光害について考えてもらう啓蒙活動も行っていきたいと考えています。一緒に星を見たい方(団体さんも)、ぜひお声をおかけください。

【連絡先】 代表 喜多 伸介 kita@hoshimitai.net ホームページ <http://hoshimitai.net>



印旛沼探検隊

2006年に代表の新谷義男がまちづくり活動を通してNPO地域交流センターを知り、水辺の体験に使われていたEボートの魅力と出会い、Eボート(10人乗りの手漕ぎカヌー)を使って印旛沼をもっと身近に感じてもらいたいという思いを持つ仲間で設立しました。千葉県エコツーリズム推進事業(印旛沼周辺地域資源調査)の実施や県と協働でEボート千葉大会の開催等の活動を通して印旛沼の様々な環境団体の方々と出会いがありました。その活動の原点に「小さいころに印旛沼の水辺、森、山で遊んで楽しかったから、思い出深いふるさどを守っていききたい。」という熱い思いがあることにも気づきました。

2012年からは「印旛沼やその周辺の自然の中で、子どもも大人もたくさん遊ぼう！遊んだ記憶や楽しい思い出が、自然や人を思いやるキモチを育む。」という思いから、子どもたちとその家族と一緒に活動にシフトしていきました。

参加者は未就学から小学生の子どもがいる家族が多いですが、活動を続けて中学生や高校生になった方もいます。現在100家族程度の登録があり、メーリングリストやFacebookを使用して情報の発信を行っています。

私たちは活動を通じて、自然の中で参加者の笑顔に囲まれ、子どもたちの成長に立ち会えたり、自分と自然がつながっていると体感出来たりすることにやりがいを感じています。また、全国の皆さんからのご支援により、身近な自然の中で子育て、子育てをする楽しさを伝えるために、絵本「もりのじかん」を創作しました。(2022年12月発行)

今後も、「記憶に残る自然と人とのふれあいを、こどもたちに」という理念のもと、団体や個人と連携しながら、自然が身近にある佐倉市での子育て、子育て環境がより楽しくなるように活動していきます。

そして、自然環境保護に取り組む団体と自然を生かして子育てをしたい世代をつなぐ役割を果たしたいと思っています。



〈印旛沼探検隊の活動内容〉

①「あそびのじかん」

日時：毎月第2日曜日

10:00～15:00

場所：フォレスト・イン岩名

内容：森の中でしたいことを自由にする。火起こし、薪割り、料理、木登りなど。何もしないのもOK。

対象：どなたでも



②「もりのじかん」

日時：毎月第4日曜日

10:30～12:00

場所：市民の森

内容：森を子どもと一緒に探検します。虫や植物など子どもの発見に寄り添います。

対象：小学校入学前の子子どもと家族

協力団体：人と自然をつなぐ仲間の会・佐倉

③「水辺の活動」

日時：不定期

場所：印旛沼、高崎川、鹿島川など

内容：Eボートで印旛沼や周辺河川を探検します

対象：3歳以上(ライフジャケットを着用できること)

小学校4年生以下は保護者と同乗

協力団体：NPO水辺散歩

④「地域交流活動 ～タケノコ掘り～」

日時：毎年4月半ばごろ

場所：風の村さくら冒険基地

内容：筍の収穫体験

対象：どなたでも

協力団体：風の村さくら冒険基地

「地域交流活動 ～田んぼの活動～」

日時：どろんこ代かき 毎年5月初旬

田植え体験 毎年5月下旬

稲刈り体験 毎年10月下旬

場所：小出農園の田んぼ

内容：どろんこ代かき(田植え前の田んぼであそぶ) 田植え(稲の苗を植える) 稲刈り(稲の収穫、おだかげ)

対象：どなたでも

協力団体：小出農園

【連絡先】大場 博子 inbanumatankentai@yahoo.co.jp